

令和4年度 小金井市立南中学校 学校経営方針

東京都教育委員会 教育目標

東京都教育委員会は、子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する。

南中学校 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、広く国際社会に生きる人間として、心身ともに健康で生涯を通して学び続けることのできる生徒の育成を目指す。

南中学校の目指す生徒像

- ・自ら学び、深く考える生徒
- ・心豊かで、仕事に励む生徒
- ・明るく、心身を鍛える生徒

小金井市教育委員会 教育目標 (抜粋)

一人一人の子供が未来を創造する当事者として、活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに成長することを願い

- 自他の人権や多様な文化を尊重し、寛容で思いやりのある人
- 自ら学び協働して問題を解決していく、創造力豊かな人
- 地域社会の一員として、社会貢献できる人
- 健康の大切さを理解し、心身ともにたくましく生きる人の育成に向けた学校教育を推進する。

目指す学校像 「最大の教育環境は教師である」

- (1) 最上級生が手本となり、2年生が推進力となる学校
- (2) 子どもたちの規範意識を高める学校
- (3) 礼儀、マナーをきちんと指導する学校
- (4) 人の話をきちんと聴き、自分の意見を明確にできる学校
- (5) 安心・安全が確保された居心地の良い学校

本年度の重点課題

- ① 小金井市 GIGA スクール構想のさらなる推進
- ② 学習指導要領と GIGA スクール構想に沿った授業改革
- ③ コミュニティスクールに伴う地域協働活動の推進

目指す教師像 生徒・保護者・地域から信頼される教師

- 保護者から「412名の命」をお預かりしているという意識
- 常に「保護者だったら」という視点に立った判断と行動

- (1) 全体の奉仕者としての教育公務員としての使命を果たす教師
- (2) 生徒を愛し、良さを認め、持っている力を引き出せる教師
- (3) カウンセリングマインドが身についている教師
- (4) 職員同士・保護者・地域と連携、協力できる教師

達成目標のための重点方針と具体策構想	
重点方針	具体策
1 学習指導の充実	(1) 手帳を活用し、家庭学習習慣の確立を図るとともに日々記録やメモを取る習慣を養う。 (2) 感染症対策に支障のない範囲で国語・数学・英語における各種コンテストを実施、基礎学力の定着を図る。 (3) 朝学活を利用した朝読書を中心に実施するとともに、定期考査前等、教科ごとに「質問教室」を設定し、学力向上を図る。 (4) 教室事情に配慮しながら、数学、英語において、習熟度別指導を実施し、わかりやすい授業を推進する。 (5) 学生ボランティアによる「学習教室」を定期的に関講し、学力向上を目指す。
2 授業力の向上	(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開を図るために授業評価を実施。授業公開の充実を図る。 (2) 教員の資質・能力の向上を目指すとともに「特別支援教室」有効活用を目的に特別支援教育への研修を深める。 (3) コミュニケーション能力向上を意識した授業構成に努め、新学習指導要領の理念を生かした授業を構築する。
3 豊かな心の育成	(1) 生徒全員が自尊感情を育み、自己有用感を味わわせるため、生徒会活動の充実とボランティア活動の充実を図る。 (2) 道徳授業地区公開講座を開催し、家庭と地域との連携を図りながら生徒の規範意識や道徳性を育む。 (3) 毎月、一週間読書を行い豊かな感性や情操を育むとともに、放課後に学校図書館を開放し読書・学習の便宜を図る。 (4) オリンピック・パラリンピック教育を通して知・徳・体の調和の取れた生徒の育成を図る。
4 進路指導の充実	(1) 3年間を見通したキャリア教育の計画に基づき、進路への関心を高め自己の能力と適性を理解させる。 (2) 「進路だより」を発行し、進路指導にかかわる多様な情報を生徒・保護者に提供する。 (3) 感染症に配慮しながら第二学年において「職場体験」を実施。
5 地域・家庭との連携	(1) 中1ギャップの解消を目指し、学区小学校との連携を深める。

職場の指針

- 1 チームワーク (学年ではなく、学校全体で協働する)
- 2 ネットワーク (情報の収集と研修会等外部での情報発信)
- 3 フットワーク (即動く、すぐ対応する機動力の重視)

★報告・連絡・相談は、記録する (ホウ・レン・ソウ・1K)

【教職員数】

職種	人数	職種	人数	職種	人数
校長	1	非常勤教員	4	栄養士	1
副校長	1	養護教諭	1	都事務	1
主幹教諭	1	講師(都)	1	市事務	1
指導教諭	0	特別支援専門員	1	用務主事	2
主任教諭	9	スクールカウンセラー(都)	1	警備補助員	2
教諭	10	スクールカウンセラー(市)	1	図書室補助員	1

	(2) 年3回の学校公開期間に土曜授業を設定。保護者、地域の方々に広く学校を公開し、開かれた学校づくりを推進する。
	(3) 貫井南町東自主防災会と連携し、避難所開設訓練を含む地域防災訓練を実施し、地域と一体化した防災訓練を実施。